

(条例) 様式第2 (第9条関係)

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

2025年 12月 15日

犬 山 市 議 会

議 長

大沢秀教 様

議員名 岡村千里

下記のとおり、広島県尾道市の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	2025年 11月 17日(月) ~ 2025年 11月 18日(火) (泊 2日)
(2) 場 所	広島県尾道市 b&g尾道, まちかどフードパントリー尾道
(3) 形 態	会派 (日本共産党 犬山市議団) : その他 ()
(4) 内 容	1. b&g(boys and girls)尾道 子どもの貧困支援、子どもの第3の居場所について。 H28年度、市内の関係課職員で構成した「尾道市子どもの貧困対策プロジェクトチーム」で実施した「子どもの生活実態調査」で、経済的困難を抱える子どもの生活や学習環境に課題があることを把握。これに基づいて「b&g尾道」を設置し(H29年7月)他に2ヶ所設置された。 尾道市社会福祉協議会が運営し、市が委託している。支援が必要な人は孤立しやすい。様々な情報からアウトリーチで利用を促している。 日々の「あそび・まなび・たいけん」を通じて、生活習慣や学力向上など「生きる力」をつけることができる。成功事例では、母親と子どもに支援し、高学年になると児童会役員になり、リーダーシップをとるようになっていった。 2. まちかどフードパントリー尾道 社会福祉協議会が運営。児童扶養手当等の受給者、生活困窮者に対象に食料支援を実施。一室に大型冷蔵庫や冷凍庫、パントリーを設置し、市民や企業から寄附された食料品等を保管。対象者は、自由に食料品を受け取ることができる。パントリー形式は初めて見て、勉強になった。
(5) 成果・提言	<提言> 1. 犬山市でも「子どもの生活実態調査」を行い、子どもの生活学習環境にどのような課題があるのか把握する。 2. 犬山市では、不登校の対策として「ゆりゆり」などの取り組みがあるが、子どもだけでなく、家庭のエンパワメントについても考えていく必要がある。 3. 食料支援は、犬山市も行っているが、3週間分を3回送る、というもの。必要な分を必要に応じて受け取るよう改善を求めたい。



(条例) 様式第2 (第9条関係)

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

2025 年 12 月 15 日

犬 山 市 議 会

議 長

大沢秀教

様

議員名 岡村千里

下記のとおり、広島市平和記念資料館の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	2025年 11 月 17 日(月) ~ 2025年 11 月 18 日(火) (/ 泊 2 日)
(2) 場 所	広島県広島市 平和記念資料館、本川小学校平和資料館
(3) 形 態	会派 (日本共産党 犬山市議会団) : その他 ()
(4) 内 容	1. 広島平和記念資料館 に行き 私はこれまでに1回資料館を見たことがあるが、リニューアル後は初めての訪問となる。80年前なせ広島に原爆が投下されたのか、時代背景の解説、原爆被害の記録、核問題等について解説されており、大変勉強になった。遺品としてホロボロになった衣服、焼けこげた弁当箱などの展示品を見て、当時を想像でき、多くの命が奪われたことに胸が痛くなった。二度とこのような悲劇をくり返してはならないという思いを強くした。ヨーロッパから外国人が多く訪れており、展示物をじっくり見ている姿が印象的だった。 2. 本川小学校平和資料館 本川小学校は、爆心地に最も近い学校として大きな被害を受けた。この資料館は、1928年に建てられた鉄筋コンクリート3階建ての校舎の一部。原爆の被害を受けた状態をそのまま残り保存されている。今では、こともヒースボランティアによる説明活動が行われている。
(5) 成果・提言	<成果・提言> 2つの資料館を訪れ、原爆の被害を知るとともに、平和の大切さと人命の尊厳を学ぶことができた。 1. 小6~中3のこどもたちの希望に応じ、広島のこの2つの資料館を訪問する企画を提案する。とりわけ、本川小学校平和資料館でのこともヒースボランティアのこどもたちとの交流ができるようにする。

「百聞は一見にしかず」である。